

令和2年沼津市教育委員会第8回定例会会議録

1 日 時 令和2年10月22日（木）
午後3時00分～午後3時55分

2 場 所 沼津市立図書館 4階 講座室

3 日 程

- (1) 開会
- (2) 会議録署名人の指名（重光委員 川口委員）
- (3) 教育長報告
- (4) 議案
- (5) 協議事項
- (6) 報告事項
報告事項1 令和2年9月市議会定例会一般質問等について
- (7) その他
わたしの主張2020静岡県大会の結果について
- (8) 報告事項
報告事項2 沼津市教育基本構想案について

4 出席者等

教育長 奥村篤、教育長職務代理者 重光純、委員 三好勝晴、委員 土屋葉子、委員 川口浩史、教育次長 芹澤一男、教育指導監兼学校教育課長 遠藤宗男、教育企画課長 金子昭人、学校管理課長 望月浩司、沼津市立沼津高等学校事務長 大沼政彦、文化振興課長 森剛彦、生涯学習課長兼ゆめとびら舟山所長 後藤寿代、学校教育課副参事（教職員担当）兼教育委員会青少年教育センター所長 本杉淳、図書館事務長 勝又恵三、スポーツ振興課長兼副参事（新市民体育館建設準備担当）兼市民体育館長兼屋内温水プール所長兼勤労者体育センター所長 高橋雅之、子育て支援課長 矢田隆之、調整担当 中澤芳子、教育企画課長補佐 遠藤康与、教育企画課指導主事 加納真、教育企画課指導主事 栗原克弥、教育企画課主任 村松大輔、教育企画課主事 重野友見

5 会議内容

(1) 開会

奥村教育長が午後3時00分開会を宣言する。

奥村教育長 10月も20日を越え、日の入りの時間もだいぶ早くなり、暗くなるのが非常に早くなった。朝晩の冷え込みも、涼しさから寒くなってきて、我が家では灯油ストーブを利用し始めた。秋の深まりを感じる今日この頃である。

(2) 会議録署名人の指名

奥村教育長より、会議録署名人に重光委員、川口委員を指名する。

奥村教育長より、本日の会議は一部非公開とすることを委員に諮り、了承される。

傍聴人 0人

(3) 教育長報告

奥村教育長 10月20日の静岡新聞に、県内の小学生が応募した「第38回県読書感想画コンクール」の審査会が19日に開かれ、約9,400点の中から、最高賞である県知事賞に第五小学校2年生の長倉葵奈さん、県教育長賞に原小学校6年生の佐藤美咲さんが選ばれた。輝かしい栄誉を祝福するとともに市内小中学生の読書活動が推進されることを期待する。また、この2人の市長への表敬訪問を現在、調整中である。本市においては、学校の臨時休業中に配付した図書カードに併せ、企画した「沼津市読書感想画・感想文コンクール」は現在、審査中である。後日、担当課より報告する。

それでは、9月、10月の報告に移る。

9月12日、土屋教育委員とともに、文化財センターが企画した講演会に出席した。内容としては、品質のよい黒曜石を求めて丸木舟で飲食物を積み神津島へ渡った旧石器時代の航海術についてであった。入場制限をし、リモートでも公開した。丸木船に乗り込む年齢層、性別、海水温、風向き、潮の流れ等を計算して渡る、旧石器人の知恵に驚いた。また、第2段として9月20日には、志下で小中学生による丸木舟乗船体験を実施した。

9月27日には、市民体育館で行われた健康スポーツ祭に、市長、教育次長と参加した。こちらも入場前に、検温、消毒、換気の徹底、また密を防ぐため、1時間毎に数回に分けて開催をした。約170人が参加したと聞いている。市長がトランポリンに挑戦し、汗だくで足がガクガクになり、運動不足を露呈してしまったと、独り言を言っていた。その後、骨密度検査を受け、2人はB判定で運動不足を指摘され、私はA判定で褒められてしまいました。

10月4日、港口公園で、沼津千本ライオンズクラブ主催の香月・長世碑前祭に出席した。周知のとおり、勝田香月先生は、明治32年に沼津市でお生まれになった詩人であり政治家でもあった。港口公園の駐車場から公園内に入っすぐの所にある立派な石碑には大正11年、大ヒットした香月先生が作詞した「出船」という曲の詩が刻まれている。私は、碑前祭に出席し今回初めて出船という曲を聴いたが、皆さんは御存知か。香月先生は昭和41年に亡くなられている。

一方、本居長世先生は、国学者として歴史のどの教科書にも掲載される本居宣長氏の子孫にあたり、わが国が世界に誇れる童謡作曲家であり、沼津をこよなく愛されていた。何気なく歌っていた「七つの子」「十五夜お月さん」「赤い靴」「青い目の人形」これらの旋律を生み出した本居長世の名前をご存知か。

沼津を愛するお二人の先生を顕彰する碑前祭を通し、若い世代が、郷土である沼津に誇りを持ち、沼津を愛する気持ちを持つことに期待している。

10月8日には、静東教育事務所管内教育長会議に参加した。令和3年度の人事について意見を聞く会が行われた。県教育委員会義務教育課への人事に係る要望や意見を伝えた。後日人事異動方針が固まるがそれを踏まえ、令和3年度の管理職登用選考試験を実施する。校長登用1次を11月下旬、教頭登用1次を12月中旬に予定している。令和3年度は、小中一貫学校が市内に2校開校するので、市内の学校数は3校減る。校長先生が3人、教頭先生が1人減る。管理職の人数にも影響が出て倍率が高くなる。

10月15日には、青少年教育センターでいじめ不登校対策協議会に出席した。

「いじめと不登校」は、学校が抱える課題の中でも、喫緊の課題である。周知のとおり、今年は新型コロナウイルス感染症拡大防止策とする3か月に及ぶ学校の臨時休業により、子供たちにも様々な影響が生じている。9月議会では、学校における新型コロナウイルス感染症の「誹謗中傷対策」について一般質問を受けた。後ほど教育次長から、報告事項の中で触れていただく。各学校では、いじめは、どこでも、誰にでも起こりうることとし、未然防止、早期発見、早期対応に取り組んでいる。認知件数の増加や解消率の高まりを実感しているところだが、今後も、初期対応を丁寧かつ迅速に行うことや、道徳教育の充実を図り、より豊かな道徳性を養い、学校が一つのチームとして対応していくことで、いじめに悩む児童生徒が放置されることのないよう努めていく。

一方、不登校については、先日、日本教職員組合が夏休み明けの8月末から先月中旬にかけて調査を行った報道を目にした。全国の小中学校や高校、それに特別支援学校など1,152校から回答を得た中で、夏休み明けに不登校や保健室に登校する子供が増えたか聞いたところ、小学校で20%、中学校で24%、高校で28%などと、全体では23%が「増えた」と答えている。

また、感染予防のために子供を登校させない保護者が「いる」と回答したのは、小学校で14%、中学校で16%、高校で11%、特別支援学校では25%で、全体では15%だった。本市では、コロナの影響はとくに見られないようだが、昨年とほぼ同じペースで増えている状況は否めない。また、虐待と見られる案件が増えた。

不登校は、いじめと同じように誰にでも起こりうる現れとして認識し、未然防止、早期発見、早期対応に努めている。学校では、魅力ある学校づくりを目指しているものの、不登校の背景には、複雑に絡み合ったものがあるため、学校だけでは解決が困難である。そのため、青少年教育センターにおいても、不登校児童生徒や保護者からの相談に積極的に対応し、また、原小、香貫小、門池小に配置されているスクールソーシャルワーカーの活用を充実させること、

様々な機関が連携することで、不登校児童生徒への多様な対応の可能性が広がることを期待している。今後は、コミュニティ・スクールを通して地域ぐるみで対応する手立てを講じていきたい。

本日、県立美術館、移動美術展の開会式、テープカットに参加した。伊藤若冲の屏風絵図、ロダンの考える人のミニ像、富士山をテーマにした横山大観、東山魁夷の作品、沼津・原をテーマにした東海道五十三次の歌川広重の作品、富士で生まれ、沼津が誇る版画家山口源の作品、内浦・長浜城辺りの風景画などが並べられ、興味関心が強かった。また草月流の方が作られた竹のオブジェが、沼津駅と文化センター、御用邸に飾られている。

今後の予定としては、10月23日に教育総合会議、10月30日に教育基本構想の策定懇話会が行われる。後ほど担当課より報告する。

以上で教育長報告とする。

<議案>

奥村教育長 日程（4）議案は、本日は案件なし。

<協議事項>

奥村教育長 日程（5）協議事項は、本日は案件なし。

<報告事項>

奥村教育長 日程（6）報告事項である。

報告事項1 令和2年9月市議会定例会一般質問等について

<令和2年9月市議会の議案と一般質問について>

（教育次長 資料に基づき説明）

奥村教育長 説明が終わったが、質問等いかがか。

三好委員 コミュニティ・スクールについてである。第五地区と大岡地区で始まってまもなく、会合を持つのもままならない状況ではあるが、進捗状況はいかがか。

学校教育課長 御指摘のとおりコロナの影響でスタートが遅れた。9月に第1回の協議会が開かれた。第五校区では、先日第2回も開催することができ、少しずつ動き始めている。内容としては、どのような学校を目指していくのかという意見を、各委員から広く出してもらうなど、できるところから取り組んでいるところである。

三好委員 本部長等の役員を決める時は、スムーズに決まったのか。

学校教育課長 地域と学校が繰り返し話し合いを持ち、両者が納得する形で決まり、動き始めている。

奥村教育長 運営協議会の委員の中に、地域学校協働本部をコーディネートする推進員の方が1人入ると思うが、そのあたりの人選についても説明願う。

- 生涯学習課長 先週13日に、学校運営協議会の2回目が開催され、それを受けて昨日、地域学校協働本部が、第五校区で行われた。学校運営協議会から地域に対し、そろばんやお手玉を学校の授業で教えてくれる方がいないかという意見が出て、地域学校協働本部では、そのような人材を探せないかを協議したと伺った。
- 奥村教育長 人選についてだが、地域学校協働本部についても、学校と地域で協議をし、地域の方から推薦を受けたという経緯である。
- 奥村教育長 これを段々広めていくつもりだが、なかなか成果にまでは及ばない。次年度に向けて、今の2つのモデルを少し拡大できればと、現在検討しているところである。
- 川口委員 新型コロナに係る、誹謗中傷の件である。沼津市の学校には誹謗中傷に対する対応マニュアルのようなものは、整備されているのか。
- 学校教育課長 特段、マニュアルのようなものは定めていない。しかし、児童生徒及び保護者に対し、繰り返し、そのようなことが起こらないような呼び掛けを行っている。
- 奥村教育長 東日本大震災の時もそうであったが、津波ごっこのようなことや、今回はコロナと呼ぶようなことも予想された。また、夏休みのような長期休業明けと同じ感覚で「元気、しばらくだったね、会いたかった」という軽々しいような対応の仕方も予想した。先生方は子供に会いたくてうずうずしていたが、状況が状況であるため、対応の仕方と一人一人を見る目が、誹謗中傷につながらないようにするため、「このような言葉掛けをしましょう」という指示はした。
- 川口委員 福祉の事業所向けに、全国社会福祉協議会から誹謗中傷対応マニュアルの雛型が届いた。それに基づき、各施設の実状に合わせて使うようにというものであった。実際に施設で感染があると、想像もできないような誹謗中傷が地域住民から寄せられるという状況の中で、対応をする職員を決めておくこと、どのように公表するのかということがマニュアル化されていた。学校ではどうなのかと思った。
- 奥村教育長 もし良かったら、見せていただけるとありがたい。
- 奥村教育長 そのほかにいかがか。
- 奥村教育長 9月議会が終わったばかりだが、11月議会がすぐそこまできており、その準備も既にしているところである。
- 奥村教育長 それでは、本件については報告を受けたということで御了承願う。

<その他>

奥村教育長 日程（7）その他である。

わたしの主張 2020 静岡県大会の結果について

<わたしの主張 2020 静岡県大会の出場者と入選者について>

（生涯学習課長 資料に基づき説明）

奥村教育長 市内で983作品であり、県内では1万作品を越えるということである。

- いかがか。
- 三好委員 スピーチはなく、文書だけでの審査ということか。
- 生涯学習課長 県大会に出場した 12 人は県庁で発表をした。静東、静西それぞれの教育事務所管内においては、文書での審査である。
- 奥村教育長 毎年 6 月頃、市民文化センターを借りて、市内での主張大会を行っているが、今年はこのような状況であった。基本的には、春休みの宿題等で自分の主張を書き、そこから各学校の代表を決めている。また、今年は縮小されているが、各学校の文化祭や体育祭で、保護者や下級生、同級生の前で発表する機会を設けている。例年は DVD に録っていると思うがいかがか。
- 生涯学習課長 そのとおりである。
- 奥村教育長 来年はできるようにしてあげたいと考えている。
- 土屋委員 県大会に出場した中から、全国大会に進むのか。
- 奥村教育長 例年は、県の代表ではなく、関東甲信越代表というように、日本列島をブロック化した形で発表会を行っている。手前味噌であるが、昔自分がいた学校で、県の最優秀賞をとり、そちらにノミネートされたことがある。その子も、今は 20 歳を過ぎている。
- ほかにかがいか。
- それでは、その他は以上とする。

<報告事項>

- 奥村教育長 日程（8）報告事項である。

沼津市教育基本構想案については公開前であるため、当日は非公開としたが、パブリックコメントにおいて公表済みになったため、公開する。

報告事項2 沼津市教育基本構想案について

<専門部会、懇話会及び策定委員会での意見を踏まえて作成した構想案について>
(教育企画課長 資料に基づき説明)

- 奥村教育長 次回の定例会で決定をする運びとなっていく。まだ完全に固まっているわけではないため、みなさんの意見を踏まえながら、柔軟に対応できるところは対応していく。写真、表紙等は、まだまだ検討の余地があるのではという意見もでている。
- お気づきの点があればお願いします。
- 三好委員 写真ではなくとも、イラストや図、統計表など、項目ごとに入れていくと、文章だけよりも、なんとなく見てみようという興味を持てる。前回の懇話会でもでていた。イラストをつくるのも大変だが、そのような物をふんだんに入れることで、よりいっそうよく見えると思う。
- 教育企画課長 おっしゃるとおり、その点については、懇話会でも出ていた。写真の大きさや位置、注釈のレイアウトも含め、見てもらえるための観点に留意しながら策定

していこうと思う。

奥村教育長 各ページに入れるのは厳しいが、章ごとに目を惹くような工夫が大事である。
重光委員 写真の話である。36 ページに高尾山古墳の写真があるが、文章の中には高尾山古墳の言及がない。歴史的に貴重なものだとすることであれば、せめて写真の下に、高尾山古墳と入れたほうが良いのでは。

文化振興課長 高尾山古墳の写真だが、現在よりは前の写真となっている。昨年度、道路のコンペティションが行われ、上りがトンネル、下りが橋梁という形での、文化財としての高尾山古墳との共存の絵姿ができています。しかし、この場にそのイメージ図を載せるとなると、道路の話になる。そうではなく、現況の写真に掲載しているが、現状変わっているところもあり、また、道路設計が進んでいる段階であり、文化財の整備までは手が付けられておらず、現状の保存のためブルーシート等も設置している状況である。

前置きが長くなったが、この写真については、見直しを考えている。

教育企画課長 文化振興課長が説明したとおり、文章は基本的に生かし、写真は他の物を検討している。

奥村教育長 いずれにしても文章表現と関連するような資料、あるいは写真がよい。
川口委員 以前読ませてもらったものと比べ、表記の仕方を変えてあり、非常にわかりやすくなった。言い切っているため、決意を感じる。言い方を変えたのは、とても良かった。

土屋委員 訂正した箇所がたくさんあり、ここまでの努力が非常に素晴らしいと思う。
奥村教育長 まだまだ80%程度の完成度。今日の御意見を参考にしながら、30日の懇話会でもさらに改善に努めていく方向である。来月の教育委員会定例会では、決定の運びとなる。よろしく願います。

それでは、本件については報告を受けたということで御了承願う。

ほかにかがが。

ないようなので、以上をもって本日の定例会を終了する。

午後3時55分 閉会